

こどものまなざし



2022年10月
<4号>

～土台となる体験を増やす～

乳幼児期の子どもは、遊びながら次々と新しい経験をします。見えない・見えにくさのある子どもにとっても、自分自身が体験したこと、触ったことがあるもの、見えたものから得る知識は大変貴重です。虫などの小さいもの、逆に木や建物などの大きいもの、泳いでいる魚や飛んでいる鳥など動くものなどの中には、見えにくさがあると正しくとらえられないものがあります。また、たとえ身近に体験して知っていることでも、その体験が部分的で、全体の特徴をつかみきれていないこともあります。例えば、魚は横たわった形でそのまま水の中を泳いでいると勘違いしている子どもがいたり、リンゴや桃には種がないなどと思い込んでいたりする子どももいます。食べたことはあっても、全体像とのつながりが弱くなりがちなので、注意が必要です。



おうちでは、食べる状態のリンゴを間近で見えておいしく食べたという経験もあるけど、切る前の状態や切る過程を見る機会は少ないかもしれない。



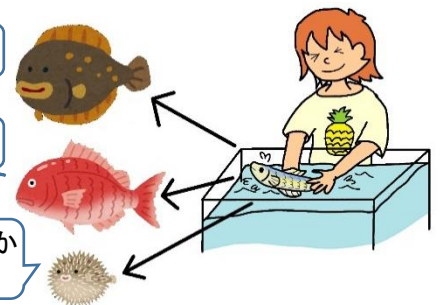
そのため、細かいところまですべてを直接体験することは難しいですが、体験する内容を精選して、その体験を土台（核）として、体験していないことを想像できるように取り組みます。魚で言えば、スーパーで捌く前のアジなどを買ってきて触ったりにおいを嗅いだりしてみます。生きた魚を触る機会があれば、そのすばしっこさや力強さに驚くことでしょう。基本とする魚を知る体験からはじめて、食卓にのぼる魚などの身近な経験を通して色々なサイズや形があることに広げていき、概念的な理解を深めたり広げたりするとよいですね。

こうした取り組みは、子どもが興味を持ったたり知りたいといった好奇心がわいたりした瞬間をきっかけにすると、体験を広げたり深めたりする絶好の機会となります。

平べったいよ

ぼくは大きい

チクチクするから気をつけて！



本校の乳幼児教育相談では、相談担当2名がお子さんの目の見え方に心配のある保護者さんの相談に応じています。0歳から年長さんまでのお子さんが通っていますので、部屋はお子さんの好みや発達に合わせて、オーダーメイドで設定しています。また、保育所や幼稚園に在籍されているお子さんもあり、必要に応じて在籍する園等を担当者が訪問させていただき、お子さんに合わせた過ごし方を園の先生方に提案させていただくこともあります。

神奈川県立平塚盲学校 乳幼児教育相談

アイキッズルーム

月～金 10:00～12:00、14:00～16:00

0463-31-1341

“乳幼児教育相談の申し込み”と電話でお伝えください。

担当（下原・小川）が対応いたします。

